スクールインターンシップ研修　体験レポート

文学部　英文学科　3 年次生

（スクールインターンシップ研修時）

1. はじめに

私は 2020 年度スクールインターンシップを科目登録し、9/23~12/1 まで、京都府立高校で研修生として活動しました。本レポートでは、そのスクールインターンシップでの経験について記していきたいと思います。

2. 応募した理由

私は自分の将来を考える中で、“学校の教師”になるか、“塾や予備校など教育系の民間企業”で働くか、悩んでいました。そのため、実際の生徒の様子や教師の方々の仕事内容を間近で拝見し自分のやりたいことを明確にするため、そして、今後自分が教育に携わる時にここでの学びを活かしていきたいと考え、今回のスクールインターンシップに参加しました。

3. 研修内容

私は、授業見学、SHR や HR、部活動・球技大会の補助、放課後の学習指導を主に行いました。授業見学では、自分が担当の科目だけでなく、他の科目の先生の授業を見ることが出来ました。1 つのクラスでも先生の授業によって雰囲気が大きく変わります。そのため、「どうしてこの授業にはこんなに積極的に参加するのだろう」と様々な先生の授業を比較しながら“生徒を惹きつける授業とは何か”を学ぶことが出来ました。放課後の学習指導では、放課後に生徒に 1 対 1 で英語の質問対応も行いました。また、研修中は、実際に生徒の前で話す機会をものすごく多く頂きました。その際、話の内容から伝え方まで試行錯誤しながら実際に生徒の前で話した経験は自分にとってすごく良い経験になったと思っています。

4. 最後に

このスクールインターンシップは、“教師”を目指すためだけでなく、自分の人生にとって大切なものを身に付けることが出来る非常に価値のある経験だと思います。私はスクールインターンシップを通して、自分の夢が明確になり、新たな自分の課題を見つけることが出来ました。実際に教育現場に行くからこそ、生徒と実際に関わるからこそ、気づくことが沢山あります。大学生のうちにこの経験をすることが出来て良かったと心の底から思います。教師を目指す人はもちろん教育に少しでも興味があるという人はぜひ参加してみてください。ここでの経験は必ず皆さんの人生にとって役に立つと思います。最後までお読みいただきありがとうございました！